

## 自民党衆議院埼玉県第 3 選挙区（越谷市・草加市）支部長

年金制度改革から考える社会保障のあり方 きかわだひとし 黄川田仁志

特集 個人の生活環境にあった社会保障・福祉政策の実現  
 ※きかわだひとしを応援する会 入会のご案内など

## きかわだステーション

第 6 号

※『きかステ』と呼んでください！



自立と誇りある  
 日本をつくります

年金制度改革から考える社会保障のあり方

自由民主党衆議院埼玉県第三選挙区支部長の黄川田仁志です。10月に開かれた国の社会保障審議会年金部会に、厚生労働省が、厚生年金の支給開始年齢の段階的な引き上げ完了時期を繰り上げる案と、支給開始年齢そのものを 68～70 歳に遅らせる案を提示し、波紋を呼んでいます。

国民の皆様から出ているご意見で、一番多いのは「60歳で定年して68歳まで年金がもらえなければ、その間の8年間はどのように生活すればよいのか」というものです。私自身も、全く同意見です。高齢になれば、体力も落ち、持病等、体調管理も大変になるかもしれません。子どもたちに面倒を見てもらえるのかどうかもわかりません。定年後の生活設計が立たなければ、不安が募り、今はまだ働き盛りの世代にも関わらず、買い物を控え、お金が世の中に回らなくなり、日本経済がさらに停滞しかねません。由々しき事態です。

日本の財政は大変厳しい状態です。ですから、これからどんどん進む高齢化に対応するためには、年金制度改革は避けては通れない課題です。しかし、定年後の生活設計ができないような改革案を突然提示されても、国民の皆様が納得できないのは当然です。

平成 13 年 1 月、中央省庁改革の一環で、当時の厚生省と労働省が統合され、厚生労働省が誕生しました。

その統合の理念は、「国民生活の保障・向上」と「経済の発展」を目指すために、社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上・増進、働く環境の整備、職業の安定・人材の育成を総合的・一体的に進めることとされています。

統合によって、少子高齢化、男女共同参画、経済構造の変化等に対応した社会保障政策と労働政策を一体的に解決していく国の役所が、本来の厚生労働省なのです。

しかし、今回の年金制度改革案の提示を見る限り、厚生労働省の理念は何ら果たされていないことは明白です。民主党や厚生労働省は、今一度、原点に戻り、働き方の改革と一緒に、年金制度改革案を提示すべきであると私は考えます。単に、財源が足りないから、つじつま合わせのために支給年齢を高くするなど、もってのほかです。本来、年金制度とは、高齢者の生活を支えるということのみならず、現役世代が安心して元気に働くための制度であるはずで、今回提示されたような対処療法の案ではなく、国民年金や共済年金も含めた、年金制度の一元化や全額税方式の導入など、党派を超えた大きな議論が必要なのではないでしょうか。さらには、高齢者や女性の積極的な雇用推進、非正規労働者拡大に伴う雇用に係わる制度の見直しなども同時に行うべきです。そして、最も大切なことは、これからの日本をどのような社会にしていくのかという、大きな目標を、まずは設定することにあると思います。

年金をはじめとした社会保障政策というと、弱い立場の人をみんなで助け合う制度という意味合いが強いですが、厚生労働省設置理念の原点に立ち返り、経済も含めた日本の国力を高めるための政策であることを、これからの政治家は、絶対に忘れてはならないと、私は考えます。

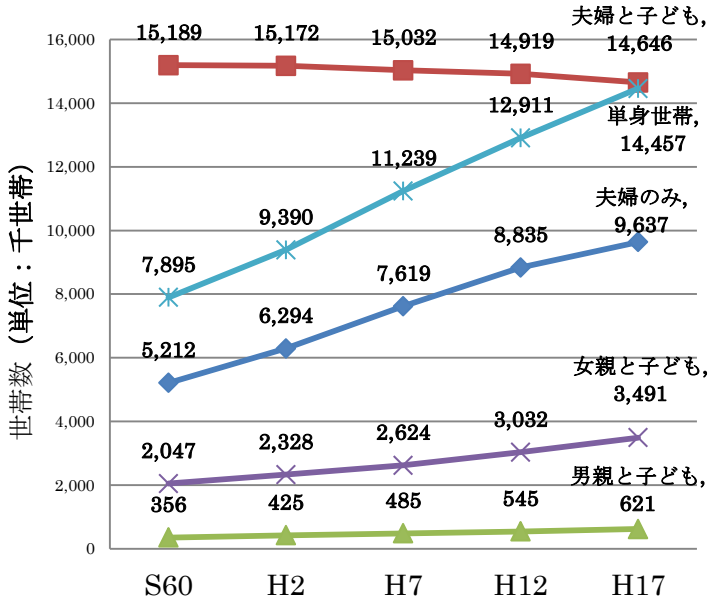
黄川田仁志

# 個人の生活環境にあった社会保障・福祉政策の実現

日本のこれまでの社会保障・福祉政策を見てみると、「家族」を基本とした制度であることがわかります。時代を経て、少しずつ改良されてはいるものの、ほとんどが対処療法であり、基本的には変わっていないと私は見ています。しかし、今の日本の家族形態は多様であり、一つの仕組みで対応できるような状態にありません。これからはそのことを見据えて、社会保障や福祉の政策を組み立てることが大切だと考えます。

左のグラフは、国勢調査の結果です。日本の家族形態は、高度成長期以降、核家族化が指摘されてきましたが、現在は、単身世帯やひとり親家庭が年々増加していることがわかります。家族を構成する人数が益々減り、例えば単身世帯であっても、安心して生活することのできる社会保障・福祉のシステムが必要であることがわかります。世帯構成は、急激に大家族化することはほぼないでしょうから、これまでの社会保障・福祉政策の方向性を大きく変える必要があると私は考えます。

日本の家族形態の推移【国勢調査より】



例えば、年金制度改革であれば、単身者で所得が少なく、

資産等がなくても、衣食住が賄え、老後を送ることができ、社会保障システムを構築する必要があります。それは、高齢者の雇用を促進することも大切ですし、要介護状態になった場合に、単身であっても自宅等で安心して過ごすことのできる、所得保障や福祉制度の構築も大切です。

一方で高齢者が労働市場に参入することにより、現役世代の雇用が圧迫されない制度も必要でしょう。雇用保険の拡充や職業訓練・職業教育の促進、子育て支援等も、社会保障制度の大きな柱として、実施しなければなりません。これからの社会保障・福祉政策は、限られた年代や立場の人たちだけを対象にしても効果があがらないのです。一人でも多くの国民が、社会活動に参加できる状況を作り上げ、経済力も含めた国力が増強されることを、社会保障・福祉政策の目標とすべきです。

少子高齢化にいち早く対応し、世界的な不況の中、経済成長を続けている北欧諸国等では、社会保障・福祉政策を救済や援助という考えだけで実施するのではなく、ひとり一人の国民を強くし、自立してもらおうための手助けをする政策と考えています。このような考え方は、まさに、私がめざす「自立」と「誇り」ある日本という国家ビジョンに必要です。その意味で、厚生労働行政は、今後、さらに徹底した縦割りの排除と広い視野による政策実施が求められていると考えます。

～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

## きかわだひとしを応援する会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。入会金・年会費は不要です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



「自立」と「誇り」ある日本をつくりたい

## きかわだひとしを応援する会

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 2丁目 8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : kikawada.hitoshi@gmail.com HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

### ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集しております。上記まで連絡願います。

### カンパ募集しております！

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大に向け、皆様からの温かいカンパを募集しております。

きかわだひとしとは？…次期衆議院議員選に向けて活動中。東京理科大学卒、米メリーランド大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道・空手・スキューバダイビング・野球・三線